



環境方針

資料 No.	25j/2023/QDh/FSOFT
版数	2.0
発行日	01-Oct-2023

更新履歴

No	発行日	版数	更新内容	更新理由	作成者	承認者
1	8-Aug-2022	1.0	新規作成	ISO14001-2015 を準拠する環境マネジメントシステムを構築する為です。	PhongNTD	HoanNK
2	1-Oct-2023	2.0	ISO14001:2015 環境方針から残された項番 1.2「コミットメント」以外に他の内容は新規追記です。	ISO14001:2015 の環境方針を Ecovadis 環境方針と合併する為です。	HaNTT8	HoanNK

1. はじめに

FPT ソフトウェアは 1999 年に設立され、持続可能で、適正で、安全で、フレンドリーな企業になる精神で活動している。本方針は、会社の実際の操業と要望に基づいて構築されるものです。本方針の具体的な目標は毎年の実情に応じて見直すこととします。

1.1 意味

当社は、自分自身、家族、社会を含め、周りにいるすべての人々が安全で健康な環境で暮らすことを望んでいる。廃棄物を最小限に抑え、適切にリサイクルし、持続可能な製品を使用／生産すると同時にエネルギー損失や排出量を最小限に抑えること、または環境保護のメッセージを皆人に啓発することは環境保護に繋がり、「グリーン企業」のイメージを構築くと理解している。

1.2 コミットメント

当社は、現地の環境保護法および当社が誓約しているその他の要件を遵守し、環境へのダメージを最小限に抑えるために最善を尽くす。

環境負荷に配慮した事業活動を促進する。

環境マネジメントシステムを運用及び継続的に改善する。

2. 環境方針

2.1 目的

本方針の目的は、すべての従業員を自分から環境へ影響することについてより意識するように指導し、教育すること、そして、積極的に環境へのダメージを最小限に抑えるための要因を見つけることを奨励することである。

2.2 定義

「環境」とは、大気、水、土地、天然資源、動植物、人間、およびそれらの相互関係を含む、組織の活動を取り巻くものです。

2.3 範囲

本方針の適用範囲は、会社全体および各部門、部署および従業員のあらゆる活動に適用される。

2.4 現地国の法律の遵守

当社は、現行の現地国の環境法令に基づく環境に関する規制を厳格に遵守することを誓約する。

当社は、当社が事業を実施しているそれぞれ地域の法律を遵守する。

当社は、環境に関する法律に違反することはないことを誓約する。

2.5 方針のアプローチ

従業員全員および関係者は本環境方針にアプローチできる。

本方針は会社のイントラネット予備ウェブサイトにて掲載されており、従業員、お客様、パートナーが容易に見える状態になっている。

2.6 実施原則

当社の環境方針と事業は以下の原則に従う。

- ✓ 誰もが安全で健康的な環境で生活し、働く権利を持っている。
- ✓ 一人ひとり普段の日常生活で必ず環境に何かの影響を与えるということを意識する。
- ✓ 悪影響を最小限に抑え、環境にとって最善のを行う。
- ✓ 人が環境に何かの影響を与えていることをについて周囲の人々に啓発し、行動を変更するように促す。

2.7 具体的なアクション（展開範囲及び適用期間は本方針の付表に記載される）

当社は、環境に悪影響を最小限に抑える行動および環境にとって最善の行動を優先的に選択することを検討する。

2.7.1 エネルギー消費の削減

- ✓ 必要以上の電気や水の使用量を削減するよう努める。
- ✓ 換気システム、LED 照明、屋外のソーラライト使用など、エネルギー消費を削減するための代替案を調査し、導入する。
- ✓ 汚染物質の排出を削減するために、古い機械設備を点検とメンテナンスする（又は買い替える）。
- ✓ 水を効果的に利用する。
- ✓ 会社のエネルギー消費量を監視して改善計画を立てる。
- ✓ 当社は、付表の通りになロードマップでエネルギー消費量を削減することに取り組むことを誓約する。

2.7.2 有毒化学物質の使用の削減

- ✓ 生産・営業過程においては有害な化学物質を使用しない。
- ✓ 生産・営業活動における物品・設備の購買を分析・再評価する。

2.7.3 廃棄物の最小限 - 廃棄物の処理

- ✓ 廃棄物の量を削減する案を検討し、プラスチック廃棄物をゼロにすることを目指す。
- ✓ 廃棄物の輸送と処分契約を継続し、契約している業者を監査する。
- ✓ 廃棄物の処分を再評価し、意図せずに環境に悪影響を与えないように確保する。

2.7.4 リサイクル活動の促進

- ✓ 生産においては各種材料の再利用またはリサイクルを促進して、環境汚染を削減する。
- ✓ 投入材料を最小限に抑え、使用済みの梱包材を再利用して資源を節約する。
- ✓ 社内ではビニール袋や使い捨て物品の使用を最小限に抑える。
- ✓ リサイクル、再利用可能、環境に優しい製品など、環境への悪影響が少ない機器、材料、製品を優先して購買する。

2.7.5 環境意識の向上

- ✓ 新入社員に対し入社時に環境保護方針について教育する。
- ✓ 従業員向けの定期教育計画を作成する。
- ✓ サプライヤーと話し合い、同じ取り組みの実施を呼びかける。

2.7.6 持続可能な消費の促進

- ✓ サプライヤーと同行して環境法の遵守、廃棄物や温室効果ガスの排出量の削減、エネルギーの節約を行う。
- ✓ お客様、パートナー、サプライヤーに対して環境保護、排出量と廃棄物の削減、廃棄物の分別についての啓発を強化する。
- ✓ リサイクル、再利用可能、環境に優しい製品など、環境への悪影響が少ない設備、材料、製品を優先的に購買し、その使用を強化する。
- ✓ 主要サプライヤーに当社の環境方針について協議する。

2.7.7 温室効果ガス排出の制御と削減に関する方向性

- ✓ 年間の温室効果ガス棚卸プログラムを構築する。
- ✓ 再生可能エネルギー由来の電力使用率を高めるとともに、高効率・節約型の電気機器の利用を増やす。
- ✓ 断熱システムや高効率の照明と暖房システムを要求するなど、新しく建設される建物に対し特定のエネルギー効率基準を満たすことを要求する。
- ✓ 電気自動車やハイブリッド自動車などの低排出ガスものの使用を促進する、または公共交通機関や自転車や徒歩などを奨励する。
- ✓ 温室効果ガスの棚卸を実施する。

2.7.8 ISO 14001（環境マネジメントシステム）の維持および改善

ISO 14001 規格に準拠したマネジメントシステムを維持・改善する。

3. 責任

会社のすべてのメンバーは本方針を漏れなく実施する。

会社の BOD は、本方針が常に最新の状態に維持され、本方針の実施を監視するフルタイム責任者を任命する。

4. 再評価

環境方針は会社の BOD によって 3 年ごとに再評価される。

当社は毎年、環境方針の実施を見直し、再評価する。

5. お問い合わせ

本方針に関して意見を述べたい場合、または本方針に違反する恐れがある行為を疑う場合は、当社直接に、又は Compliance@fpt.com 電子メール宛にご連絡ください。

事前にいずれかの問題を防止し、発生した場合に迅速に対応するために、皆様からのご意見を待っています。できるだけすべての通報や連絡を迅速に、そして公平かつ機密扱いで処理することを誓約します。

取締役副社長
(CFO - 最高財務責任者)

NGUYỄN KHẢI HOÀN

環境方針の付表

No.	具体的なアクション	展開範囲	適用期間	備考
2.7	エネルギー消費の削減			
2.7.1	エネルギー消費量を削減するロードマップ	ベトナム全拠点、日本拠点		
	当社でのエネルギー使用量データが 100%監視されることを誓約する	ベトナム全拠点、日本拠点	2023	
	再生エネルギー電力利用割合を 3 % 向上する	ベトナム全拠点	2024	
	再生エネルギー電力利用割合を 5 % 向上する	ベトナム全拠点	2025	
	Duy Tan ビルディング、Ftown 1 ビルディング、Ftown 2 ビルディングの古い電球の 50%を LED 照明と置き換える	Duy Tan ビルディング、 Ftown 1 ビルディング、 Ftown 2 ビルディング	2023 年末	
2.7.2	有毒化学物質の使用の削減	ベトナム全拠点		
2.7.3	廃棄物の最小限 - 廃棄物の処理			
	廃棄物の分別を行い、可能であれば廃棄物のリサイクルと再利用を行う。100%の廃棄物が発生源で分別されることを誓約する。	ベトナム全拠点、日本拠点	毎年	
	オフィスで使われるゴミ袋の 100%がリサイクル可能な素材で作られたことを誓約する。	ベトナム全拠点、日本拠点	毎年	
2.7.4	リサイクル活動の促進	ベトナム全拠点、日本拠点		
2.7.5	環境意識の向上			
	新入社員に対し入社時に環境保護方針について教育する。90%の従業員が環境について教育を受けることを誓約する。	ベトナム全拠点、日本拠点	毎年	
	従業員向けの定期教育計画を作成する。		毎年	
	サプライヤーと話し合い、同じ取り組みの実施を呼びかける。			
	環境意識に関する社内教育を定期的に実施する。			既存の従業員に対しては 2 年に 1 回 新入社員に対しては DayOne

2.7.6	持続可能な消費の促進			
	サプライヤーと同行して環境法の遵守、廃棄物や温室効果ガスの排出量の削減、エネルギーの節約を行う。	ベトナム全拠点、日本拠点		取り組みに参加するサプライヤーが20%以上であることを誓約する。
	お客様、パートナー、サプライヤーに対して環境保護、排出量と廃棄物の削減、廃棄物の分別についての啓発を強化する。			30%以上のサプライヤーが環境に関する教育、啓発されることを誓約する。
	リサイクル、再利用可能、環境に優しい製品など、環境への悪影響が少ない設備、材料、製品を優先的に購買し、その使用を強化する。			会社の消耗品の20%以上をリサイクルされるものに置き換えることを誓約する。
	サプライヤーと協議する。			50社の主要サプライヤーの60%に当社の環境方針について協議する。
2.7.7	温室効果ガス排出の制御と削減に関する方向性	ベトナム全拠点		
	年間の温室効果ガス棚卸プログラムを構築する		年に1回	
	フルタイム従業員数に基づいてスコープ2の温室効果ガス排出原単位を基準年と比較して毎年2.7%削減する。			基準年と比較して毎年2.7%削減する
	売上高に基づいてスコープ3の温室効果ガス排出原単位を基準年と比較して毎年2%削減する。			基準年と比較して毎年2%削減する